

1. 活動のテーマ

<テーマ>

マリア様

<テーマの設定理由>

- ・カトリック園で生活の節目ごとに祈る機会がある
- ・月に数回教会訪問や神父様のお話を聞く
- ・母の日を通してカトリックの中でのみんなのお母様の存在を知り、祈りを深め始めた。

2. 活動スケジュール

- ・聖母月（5月）・マリア様に興味を持ち、祈りを深める
- ・聖母祭に参加する
- ・ロザリオの月を知り、アベマリアの祈りを願いを込めて祈る
- ・聖劇を通してマリア様への思いを深める
- ・ロザリオを自分で作って心を込めて祈る

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・聖歌や祈りの場を設ける
- ・折り紙とストローで花を作る
- ・聖母祭当日は数種類の生花を用意する

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

聖母祭に参加しマリア様に祈りと花を捧げる

いつも見守って下さるマリア様をお祝いすることを知らせ、どんな気持ちや願いを持って参加するかなど話し合いながら心の準備を進める。

マリア様に捧げる聖歌を歌う中で歌詞の意味を確認することでマリア様の思いや姿を想像する場を設ける

聖母祭当日には花を用意し献花をする

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

聖歌の歌詞の中には昔の言葉もあり、難しい物もあるが子どもたちは分からないことを追求する楽しさを感じていた。

言葉の意味がわかるとマリア様の思いがより子どもたちに伝わっているのを感じた。

聖母祭に向けての心の準備と合わせて聖堂内での過ごし方やマナーなど再確認したことで祈る姿も熱心になってきた。

当日はマリア様が大好きな物を捧げる＝お花で綺麗に飾るということを心に留め、大切に花を運んでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

聖母祭に向けての活動を通して子どもたちの中にマリア様の存在が大きくなっているのを感じた。折り紙で作った花を持って聖母祭の献花の練習を行うと普段の歩き方とは異なる姿を見せていた。

マリア様はみんなのお母さん、見えないけれどいつもどこかで見守ってくれているということも子どもたちは自然と受け止めているように見え、うれしく感じている。